



令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社  
 コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光 (TEL) 06-6635-0201  
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績(令和5年4月1日~令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	36,370	0.2	4,600	△12.0	4,960	△10.8	3,544	△9.9
5年3月期第3四半期	36,283	15.3	5,227	19.2	5,560	18.8	3,933	17.9

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 3,981百万円(△6.2%) 5年3月期第3四半期 4,245百万円(32.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	456.47	—
5年3月期第3四半期	506.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期第3四半期	68,261	53,005	77.6	6,820.04
5年3月期	65,761	50,732	77.1	6,527.42

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 52,950百万円 5年3月期 50,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	40.00	—	140.00	180.00
6年3月期	—	80.00	—	—	—
6年3月期(予想)	—	—	—	90.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	47,000	△3.5	5,600	△16.8	5,800	△19.2	4,000	△24.4	515.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

6年3月期3Q	7,766,380株	5年3月期	7,766,380株
6年3月期3Q	2,384株	5年3月期	1,395株
6年3月期3Q	7,764,620株	5年3月期3Q	7,765,750株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
<参考資料>	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の回復や輸出の緩やかな増加により景気は回復基調にありますが、円安による継続的な物価上昇等の影響を受け、個人の消費財への支出は下降傾向にあり、景気を持ち直しに足踏みが見られます。

海外におきましては、ウクライナ情勢や新たに中東情勢が緊迫化しており、欧米における金融引き締め継続や中国における国内景気低迷などを受け、世界的な景気後退への警戒感が強まりつつあります。

当社グループが属しておりますステンレス業界では、ニッケル市況の下落および輸入材の影響等で製品価格は値下がり傾向に転じております。実需の回復はまだら状態が続いており、また先安観による買い控え等もあり、荷動きの本格的な回復まで至っておりません。

このような状況下におきまして、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は363億70百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。前年同四半期に比べ販売数量は減少しましたが、販売単価の上昇等により、売上高は若干増加しております。収益面におきましては、材料価格の低下に伴い棚卸評価差益が剥落したため、営業利益は46億円（前年同四半期比12.0%減）、経常利益は49億60百万円（前年同四半期比10.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億44百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

#### (日本)

日本事業の売上高は前年同四半期水準の345億84百万円、セグメント営業利益は44億73百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、前年同四半期と比べて配管用は数量が減少しましたが、自動車用はメーカーの生産回復により数量が増加したため、売上高は197億57百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて数量が増加し、製品価格も上昇したため、売上高は87億65百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

ステンレス加工品部門は、給湯器用フレキ管の販売が振るわず、売上高は7億51百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。

鋼管部門は、建設仮設材用の需要が低迷し、販売数量が減少したため、売上高は48億35百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。

機械部門は、取引先が設備投資に慎重になったため販売台数が伸び悩み、売上高は4億74百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。

#### (インドネシア)

インドネシア事業は、中国経済の停滞による輸出関連不振でインドネシア経済が弱含みとなり、下期に入り二輪、四輪ともに販売数量が減少しました。販売価格の上昇と円安の効果もあり、売上高は17億86百万円（前年同四半期比5.9%増）となりましたが、セグメント営業利益は販売価格と材料価格のスプレッドが縮小したため1億27百万円（前年同四半期比28.2%減）となりました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)		前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日本						
ステンレス管	19,632	54.1	19,757	54.3	26,446	54.3
ステンレス条鋼	8,267	22.8	8,765	24.1	11,156	22.9
ステンレス加工品	950	2.6	751	2.1	1,253	2.6
鋼管	5,241	14.4	4,835	13.3	6,814	14.0
機械	503	1.4	474	1.3	686	1.4
インドネシア	1,686	4.7	1,786	4.9	2,354	4.8
合計	36,283	100.0	36,370	100.0	48,712	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は682億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて25億円増加いたしました。総資産の増減の主なもの、現金及び預金の増加26億80百万円、電子記録債権の増加4億77百万円、棚卸資産の減少13億17百万円などです。負債の部は152億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億28百万円増加いたしました。負債の部の増減の主なもの、支払手形及び買掛金の減少9億56百万円、電子記録債務の増加15億43百万円、未払法人税等の減少9億5百万円などです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は530億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億73百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が18億36百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が4億30百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.5ポイント上昇し、77.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、令和5年10月23日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,329	17,009
受取手形及び売掛金	9,750	9,600
電子記録債権	6,186	6,663
棚卸資産	13,118	11,801
その他	158	222
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	43,527	45,279
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,950	7,977
その他(純額)	7,743	7,947
有形固定資産合計	15,694	15,924
無形固定資産		
その他	66	65
無形固定資産合計	66	65
投資その他の資産		
その他	6,482	7,000
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,474	6,991
固定資産合計	22,234	22,981
資産合計	65,761	68,261
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,838	2,882
電子記録債務	4,358	5,901
短期借入金	670	536
未払法人税等	1,284	379
賞与引当金	380	173
その他	1,754	2,137
流動負債合計	12,287	12,010
固定負債		
長期借入金	1,300	1,515
役員退職慰労引当金	171	181
執行役員退職慰労引当金	25	32
退職給付に係る負債	177	172
その他	1,067	1,343
固定負債合計	2,741	3,245
負債合計	15,028	15,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	34,107	35,943
自己株式	△0	△1
株主資本合計	48,617	50,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,266	1,607
為替換算調整勘定	715	806
退職給付に係る調整累計額	86	83
その他の包括利益累計額合計	2,068	2,498
非支配株主持分	47	54
純資産合計	50,732	53,005
負債純資産合計	65,761	68,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	36,283	36,370
売上原価	27,098	27,673
売上総利益	9,184	8,697
販売費及び一般管理費	3,957	4,097
営業利益	5,227	4,600
営業外収益		
受取利息	6	12
受取配当金	87	142
持分法による投資利益	131	124
為替差益	81	51
その他	43	40
営業外収益合計	350	371
営業外費用		
支払利息	8	7
その他	8	4
営業外費用合計	16	11
経常利益	5,560	4,960
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	109
特別利益合計	0	109
特別損失		
固定資産除却損	14	2
特別損失合計	14	2
税金等調整前四半期純利益	5,546	5,067
法人税、住民税及び事業税	1,473	1,388
法人税等調整額	134	131
法人税等合計	1,607	1,519
四半期純利益	3,938	3,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,933	3,544



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	3,938	3,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	341
為替換算調整勘定	61	63
退職給付に係る調整額	5	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	17	30
その他の包括利益合計	306	433
四半期包括利益	4,245	3,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,236	3,974
非支配株主に係る四半期包括利益	8	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,596	1,686	36,283	—	36,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	34,596	1,686	36,283	—	36,283
セグメント利益	5,048	177	5,226	1	5,227

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,584	1,786	36,370	—	36,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	34,584	1,786	36,370	—	36,370
セグメント利益	4,473	127	4,600	0	4,600

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

— 以上 —

<参考資料>

令和6年1月31日

モリ工業株式会社

令和6年3月期 第3四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R5.3.末	当四半期末 R5.12.末	増減		前期末 R5.3.末	当四半期末 R5.12.末	増減
流動資産	43,527	45,279	1,752	流動負債	12,287	12,010	△277
現金及び預金	14,329	17,009	2,680	支払手形及び買掛金	8,197	8,784	587
受取手形及び売掛金	15,937	16,263	326	短期借入金	670	536	△134
棚卸資産	13,118	11,801	△1,317	未払法人税等	1,284	379	△905
その他	141	204	63	引当金	380	173	△207
				その他	1,754	2,137	383
固定資産	22,234	22,981	747	固定負債	2,741	3,245	504
有形固定資産	15,694	15,924	230	長期借入金	1,300	1,515	215
土地	7,950	7,977	27	役員退職慰労引当金	171	181	10
その他	7,743	7,947	204	執行役員退職慰労引当金	25	32	7
				繰延税金負債	767	1,043	276
				その他	477	472	△5
無形固定資産	66	65	△1	負債合計	15,028	15,256	228
投資その他の資産	6,474	6,991	517	純資産	50,732	53,005	2,273
投資有価証券	3,942	4,344	402	株主資本	48,617	50,452	1,835
退職給付に係る資産	1,536	1,561	25	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	—
その他	995	1,086	91	利益剰余金	34,107	35,943	1,836
				自己株式	△0	△1	△1
				その他の包括利益累計額	2,068	2,498	430
				非支配株主持分	47	54	7
資産合計	65,761	68,261	2,500	負債・純資産合計	65,761	68,261	2,500

2. 棚卸資産回転月数(期末棚卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第3四半期	当第3四半期	増減
棚卸資産回転月数	3.36	2.92	△0.44

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
230	934	773	△2	67
日本 (200)	(903)	(704)	(△1)	(—)
インドネシア (30)	(31)	(69)	(△1)	(67)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R5.3.末	当四半期末 R5.12.末	増減
有利子負債①	1,979	2,060	81
現預金等換金性のもの②	14,329	17,009	2,680
実質有利子負債①-②	△12,350	△14,948	△2,598

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 R4.4-R4.12	百分比 %	当第3四半期 R5.4-R5.12	百分比 %	増減
売上高	36,283	100.0	36,370	100.0	87
売上原価	27,098	74.7	27,673	76.1	575
売上総利益	9,184	25.3	8,697	23.9	△487
販売費及び一般管理費	3,957	10.9	4,097	11.3	140
営業利益	5,227	14.4	4,600	12.6	△627
営業外収益	350	1.0	371	1.0	21
受取利息	6		12		
受取配当金	87		142		
持分法投資利益	131		124		
為替差益	81		51		
その他	43		40		
営業外費用	16	0.0	11	0.0	△5
支払利息	8		7		
その他	8		4		
経常利益	5,560	15.3	4,960	13.6	△600
特別利益	0	0.0	109	0.3	109
固定資産売却益	0		—		
投資有価証券売却益	—		109		
特別損失	14	0.0	2	0.0	△12
固定資産除却損	14		2		
税引前四半期純利益	5,546	15.3	5,067	13.9	△479
法人税等	1,607	4.4	1,519	4.2	△88
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	0.0	4	0.0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,933	10.8	3,544	9.7	△389

6. 当第3四半期の経常利益増減要因(前第3四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 変動費率の減少	1,089	1. 生産金額(量・価格含む)の減少	△103
2. その他	70	2. 固定費の増加	△180
		3. 為替差損益	△30
		4. 棚卸評価差損益	△1,446
計	1,159	計	△1,759
		差引	△600